

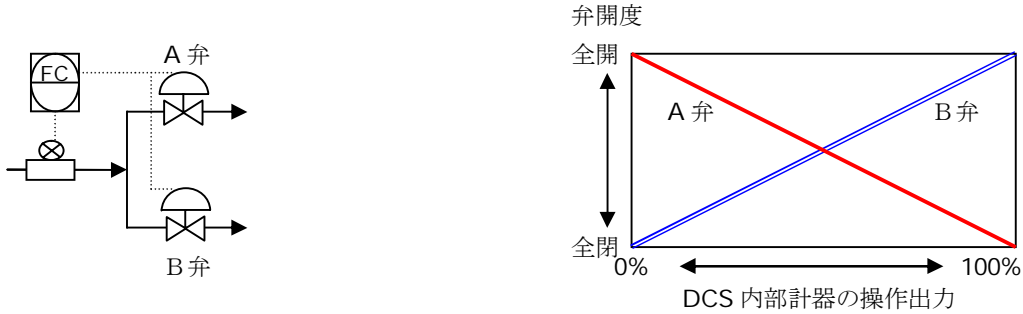
## 24. X Split : クロススプリット

「エックススプリット」と読む初心者を脱して、「クロススプリット」と呼んでPAのプロらしい箔をつけよう。で、読み方だけでは偽のプロで、直ぐに化けの皮が剥がれるだけである。以下の内容の方もしっかり押えよう。同類の2つと合せて、スプリット3点セットで頭を整理するのが良いだろう。

なお、ここでの例示はスプリットの原理説明までである。実際にはバルブのエアレスやエレキレス仕様も考慮する必要がある。実務は単純な原理通りでは済まぬのが普通なので、その点留意されたし。

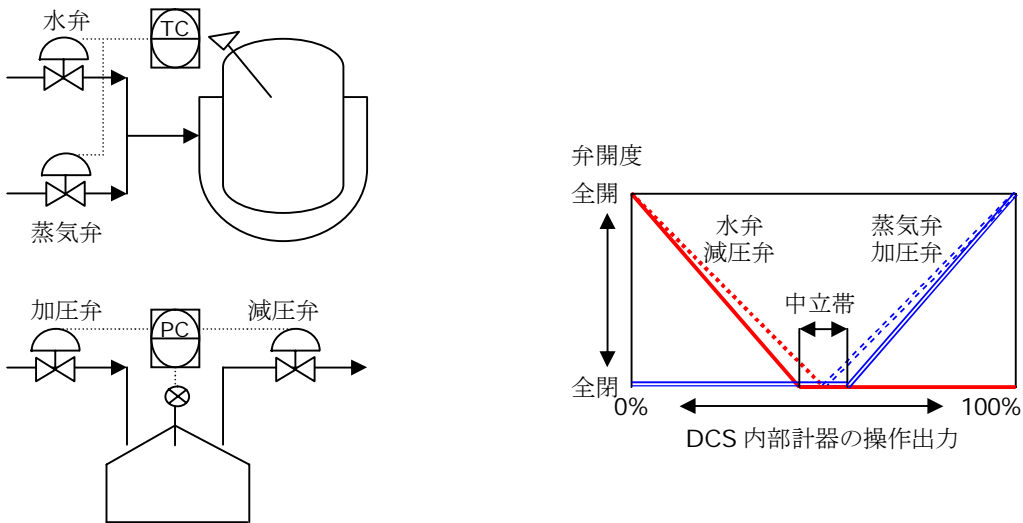
### (1) Xスプリット

例えば、2台の弁を連携させて、流量を保ちながら行先を変える場合に利用される。2台の弁設定におけるクロス格好がXに模されるので、このように呼ばれている。



### (2) Vスプリット

例えば、温度調整における冷却と加温を、水と蒸気という2つの流体で行う場合に利用されるスプリットの形態である。もう一つの例として、タンクの圧力調節における加圧と減圧の2台設置がある。2台の弁設定におけるVの格好から、このように呼ばれている。なお、スプリット点をぴったりとすると、弁の僅かな調整ずれによって、両方のラインが同時に開く恐れがある（点線ケース）。そこで、若干の中立帯を挿入することが、普通となっている（実線ケース）。



### (3) パラレルスプリット

流量制御の範囲が広く、1台の調節弁では制御しきれない場合がある。その場合に小大の複数台の調節弁を組合せて、小流量から大流量までをカバーすることがある。

